

第1回 情報推進常任委員会会議録

平成31年2月28日(木)

委員会 議室

○会議日程

- 1 開会宣告(16時09分)
- 2 協議事項
(1)青年部との意見交換会で出された意見について
- 3 閉会宣告(16時27分)

○出席委員(8名)

委員長	2番	西澤裕之
副委員長	5番	鷺見悟
委員	1番	富樫直敏
委員	3番	斎賀弘孝
委員	4番	無量谷隆
委員	6番	吉原哲男
委員	7番	高橋秀之
委員	8番	植村敦

○議会事務局出席者

事務局 長	藤田秀紀
主 事	満保希来

西澤委員長

ただいまより第1回情報推進常任委員会を開会いたします。

出席委員は8名です。定足数に達しておりますので、協議事項に移ってまいります。

(1) 青年部との意見交換会で出された意見についてを議題といたします。

商工会青年部、農協青年部との意見交換会、10月27日に実施をしています。

まずは、町議会のなり手不足対策についてというところで、会場で、これを回答をしておりますので、ここ1回チェックしていただいて、これはこれで、つけ加えることがなければ、農協青年部、商工青年部にこういう回答を得ましたということで、ページめくっていただくとわかるんですけど、担当課の見解というところもありまして、この文書を両青年部に渡したいと思っておりますので、皆さんのご意見をほどをよろしく願います。

ざっと、1ページ目のなり手不足対策については、会場で回答しておりますが、このほかに何か意見をつけ加えることがもしあれば、願います。

(植村委員「これでいいんじゃないですか」)

よろしいでしょうか。

それでは、2番目の、観光の拠点となる道の駅構想というところで、担当課の見解としてはですね、1、2、3番目については、今後検討を進める参考させていただきますというところなんですけど、よろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

次に(3)バイオマス産業都市構想なんですけど。

よろしいですか。

(「はい」の声あり)

では、(4)その他の意見要望事項ということで、それぞれ担当課の意見が出てます。よろしいでしょうか。

斎賀委員

これ全部載せるの。

西澤委員長

広報には載せません。両青年部に回答としてお渡ししようと考えてます。

斎賀委員

青年部に渡すんだ。

藤田議会事務局長

文章で委員長から、正式な回答をしようと思ってます。

議会のところは皆さんの意見を。

西澤委員長

(6)のほう過去6のほう見てもらうと「町議の方々は幌延町の理想像をどのように持っておられるのか。」というところがありますので、皆さんの意見を聞いて、まとめて、載せたいと思っております。

藤田議会事務局長

聞いていることが大き過ぎるので、なかなか絞って答えられないと思うんですけど。例えば、基幹産業は、どういう認識でいて、その基幹産業を振興することと、商工関係を今後ど

うしていくかっていうのと、町の発展をどのように考えていくかっていう。言えば、福祉だとか何とか出てくるかもしれないけど、全体的な町の振興策ってどうなのっていうのは、あるかもしれないし、町が例えば、福祉を充実しているまちづくりを目指すのか、酪農の進行なのか、商工業の振興なのか。その辺でまず、全部って言えば全部なのかもしれないけど。

吉原委員

例えば、酪農の振興ということになれば、やはり町単独、農協単独ではなかなかできないと思うんだ。やはり、町と農協は、密接に連携していかなければ。それはどういうことかっていったら、やめた人の後、これをどうするか。今までのように、2年、3年かかって新規就農なんてで、だから、とてもじゃないけども、次から次に新規就農なんかできないと思うんですよ。それで、できれば居抜きで、新規就農を次の人にバトンタッチしているような方法を考えていかない。それは役場だけではできないと思う。農協とやっぱりタイアップしていかなきゃならない。そういうことの連携で、きちっと農家減らさないような方法を。また、これまで、何十年もかけて、開いてきた土地を無駄にしないようにするには、やはり、何て言っても新しく入って来てくれる人達に託さなきゃならないわけだから、その辺を連携しながら、進めていってもらいたいっていうのは、我々議員として、考えるところだと思うんだ。

それともう一つは、観光の問題。何回も言ってるようだけど、トナカイ牧場あれでは人は来ない。もうちょっと人の来れるようなものにしていかなかったら駄目だなと。

サロベツ原野、それと利尻礼文国立公園ではないけど、利尻を見てもらうというのは、本当に幌延は場所的に良いと思う。だから、それを一望できるような場所を選定して、バスで行けるようなものを作ることによって、人も来てくれるんじゃないかなと思うんだけども。

その辺も皆さんと協議しながら、重箱の隅つつくことじゃなくて、少し大きな構想持ってやったらいいんでないのかな、将来的には。俺は個人的には思っています。

その他の福祉とかは何かは、皆さんいろいろ発言していただければと。

植村委員

担当課の見解にあるよう、第5次幌延町総合計画を基本に活力ある町民が暮らして良かったと。というような、まちづくりを目指したいということで、括っちゃったら駄目。

吉原委員

駄目だわ。あまりにも多すぎる。何を言わんとしてるかわからんもん。

そんな長ったらしくはいらんけども、こういうふうにしたら良いな、これも良いなっていうのを入れていかないと。あんまり大きくしちゃったら、何をしたいの結果的にっていうことになるから、ここは、基幹産業の酪農だったら酪農。あるいは、観光目的だったり、医療、福祉だとか、老人の住みやすい町にするならする。どうしたらいいかっていうことで、少しずつ入れていかないと理解できないと思うよ、

藤田議会事務局長

例えば、前段に町民の総合計画を尊重して、町民が皆住んでてもらいたいまちづくりを目指すって言って、そのためには、何点かメインとして、酪農の振興だったり、福祉で何とかやったり、何とかだったりっていう、総合的なまちづくりを目指すってやれば、かっこいいかもしれないですね。

植村委員

ちょっと、長くなるけども、良いんでかない。あまりにもこの問題が大きいからさ。理想像を来られると、本当に。

西澤委員長

それでは、ここの町議の方々は、幌延町の理想像をどのようにもっておられるかというところに関しては、他に意見がなければ、今出たような感じの文言をまとめて、定例会前か、定例会終了後に皆さんに見ていただいて、意見を求めたいと思います。その際、集まった議員それぞれ8名いますので、全てが自分の意見と一致しなくてもですね、そこはご了承いただいて、文言的に見直すものをしますけれども、ここが足りないあそこがどうのこうのって言うと、長くなったり短くなったりしますんで、その辺はご了承いただいて、一度皆さん示しできる文書を作って来ますので、それでよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

承知いたしました。

斎賀委員

最後から2枚目に後継者がいなく、数年後には廃業となる可能性、廃業した飲食店が多いって書いてありますよね。4番として、その他の意見要望で、幌延町の商工業者が経営者の高齢化により後継者不足になってありますよね。これ1つにした方が良いんじゃないんですか。

西澤委員長

これは質問なので、質問に対する回答なんですよ。

藤田議会事務局長

その場でいろいろ出たやつを簡条書きに書いていったんですよ。

斎賀委員

まとめないの。

植村委員

各課で回答残したんだから、そのままです。

西澤委員長

ほかにありませんか。

(「なし」の声あり)

なければ、先ほど言った部分だけを皆さんに見ていただいて、こんな感じで両青年部に回答として、各担当から得た回答と議会としての回答ということで、両青年部にお渡ししますので、よろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

それでは、これをもちまして、第1回情報推進常任委員会を閉じたいと思います。お疲れさまでした。

(16時27分 閉 会)

以上、相違ないことを証するため署名する。

委員長 西澤裕之

以上、記録する。

主事 満保希来